



医療人として 院長 佐藤 卓

令和五年のこの春、私は医学部を卒業してからゆうに四十五年以上過ぎています。外科の医者を本格的に目指すについては、その外科入局前に関連分野の臨床研修を様々なところで受けてきました。そして自分自身の医者としての力量にある程度自信を持つことが出来るようになったのは、ようやく十年のキャリアを経た頃の札幌でのことでした。

今日の私の臨床医学の実践力は、学生時代から身につけた医学知識と医者になってから得た技術の鍛錬の融合で確立されたものだといえます。しかし自分のその医師としての向上意欲を支え続けたものは果たして何であったのだろうかと思えることがあります。すると果たして実際に思い起こすことがあったのです。それは学生時代に受けた臨床講義の中でのある一人の教授の言葉に行きつくのでした。

その教授とは私の母校、道立札幌医科大学第二外科講座(胸部外科)の若き日の和田寿郎先生でした。因みに私が所属した外科の医局は第一外科学講座であり、心臓外科以外の消化器・乳腺・甲状腺等を扱ういわゆる一般外科が専攻でありました。さて年配の方々はその名を良く記憶していることと思いますが、和田教授は当時の胸部外科の分野での日本の第一人者でした。そして何よりも日本で初めて心臓移植を行った人物として海外にもその名が知られています。

和田先生は北海道大学を首席で卒業後、すぐに同大第二外科講座に入局されています。そして四年間アメリカへ留学し、帰国後は三十六歳で札幌医大第二外科の胸部外科教授として赴任されました。臨床研究にも力を入れて優れた心臓弁を開発したり、当時

の心臓の難手術を次々と成功させて業績をあげ、まさに日本でのみならず欧米にまでトップレベルと言われた心臓外科医でした。英語のみならず独語も堪能なその若き俊英の先生は、我々医学生を前にして初めての臨床講義の中でこう言って将来を激励したのでした。「君たちには日々の努力が求められる。医師は一生勉強することが宿命なのである」と。そしてさらに教授の口から出た言葉が今も私の耳の奥に鮮烈に残っているのです。それは「君たちは医療人として患者から学べ」との言葉でした。

「医療人とは」と、今私は和田先生の当時の精悍な顔を思い浮かべながら思っています。遊佐に戻り当院に赴任するまでに私は、道内や道外において数多くの大小様々な病院で働く機会を得ております。そしてそれらの臨床の現場に私は多様な貴重な経験を積んできました。その結果として私は次のように考えるようになりました。チーム医療を担う中で医療人とは医師、看護師、コメディカルスタッフだけではなく、院内で働くすべての職員を指す

べきものであると。そして「患者から学べ」との和田教授の言葉をあらためて噛みしめておきます。それは患者さんの「病態を単に学ぶ」だけでなく、その人の「心」が肝要であるとの教示。すなわちその学びの中で自分も成長できるのだと考えが、まさにその言葉の中にあつたのだと私は考えているのです。

さらに今日私はこのように思っています。患者さんを通じて病院の職員全員が成長してゆくことこそが何より大事なことであるはずだと。そしてこのことが地域の医療を向上させる原資になるはずだとも考えているのです。それゆえに順仁堂遊佐病院で働く私たちは、医療人として「患者さんから学ぶ」との言葉を皆それぞれに肝に銘じ前進して参りたいものです。院長として私はこのように切に願うところなのであります。

遊佐病院に入職し丁度半年が経ちました。覚えなければいけないことがたくさんありますが、私なりに頑張っているところで、活気があり、職場の雰囲気がとても良いです。また、病院内はいつもキレイで気持ちよく仕事が出来ます。私はここで勤務できることに感謝し、私の今の課題をクリアできるように努力していきたいです。

コロナが緩和化され落ち着いたかのように思いましたが、まだまだ油断できない状態です。県外にいる友達になかなか会えないので、数年前から手紙のやり取りをしています。メールやラインも取りですが、心のこもった手紙が届くのは嬉しいです。休日には部屋でゆっくり手紙を書くのも楽しいです。高校2年生の娘がいますが、コロナが終息したら娘と一緒に思いっきり買い物をしたり、家族みんなで旅行などもしたいです。

ショートステイ 開設から10年 12床に増床!

当院のショートステイも平成25年1月1日の開設から10年が経ちました。開設当初は1日6人定員で始まり、現在は、8人の定員です。お陰様で利用者さんも増え、この度再度増床する運びとなりました。当院のショートステイは指定介護予防短期入所療養介護事業所といひ、介護施設などの短期入所生活介護となつて医学的管理の下に看護や介護および機能訓練、その他必要な医療や日常生活のお世話をしています。当院のように入院病床と介護保険のショートステイ病床を持つ病院は山形県内でも当院だけと聞いています。利用者さまは遊佐病院からつつけの方がほとんどですが、他の医師にかかりつけの方でも利用できますので安心ください。また、介護度に関係なく利用できます。当院に入院したことをきっかけに利用される方、医師や看護師の下で安心してゆっくり過ごしたい方、体調に不安がある方、リハビリしたい方、病院に預けることでご家族が安心して休息をとることが出来るように、など利用理由は様々です。送迎も行っています(曜日や距離により要相談ですが)。

「もう少し居たいショートステイ、また来たいショートステイ」をコンセプトに、私たち職員

一同これからも利用者家族さまに合わせたサービスを提供できるように努めてまいります。利用者家族さま、ケアマネジャーさんからの相談も随時受け付けておりますので、地域連携室までお声がけください。

(担当…地域連携室室長 兼 ショートステイ管理者 佐藤真紀)

1病棟はショートステイの利用者さまと、入院中の患者さまの療養生活の援助を担っています。利用者さまから、たくさんのお話を聞かせてくださるので、スタッフも癒されながらケアに当たることが出来ます。地域で暮らす利用者の方々のニーズをくみ取り、次の支援に繋げ、地域の方々がより住みやすい生活できるように、病棟としても精一杯努力していきたいと思っております。

(1病棟主任看護師 川村恵理子)

地域連携室 相談員 産休代理!

当院の医療相談員、石井優姫(社会福祉士)が6月18日より産休・育休休暇をいただきます。休みの間、齋藤綾(社会福祉士)が相談員業務を担当いたします。受付窓口にも10年おりましたので、お会いしたことがあるかもしれません。心配事やお問い合わせなどお気軽にお声がけください。

石井優姫

あとは任せたよ!

元気な赤ちゃんを産んでくださいな!

齋藤綾

ショートステイについて、その他のご相談、今まで通り佐藤にお声がけください。

佐藤真紀

こまめな水分補給を!

のどが潤いてからでは遅いです。特に夏はこまめに水分を摂りましょう。

第7回 半年を振り返って

栄養課 佐藤真由美



★1病棟 看護師 工藤真弓

4月より入職しました工藤真弓です。1F病棟に所属し、看護師をしております。結婚を機に、家族との時間も大切にしながら働くことが出来る職場を考えていたところ、当院のワークライフバランスに力を入れて取り組んでいることを知りました。日々、鳥海山を眺めながら出勤するのはとても気持ちのいいものです。休日には実家の祖母との時間や、愛犬に癒されながら過ごしています。おすすめの散歩スポット等がありましたら是非教えていただきたいです。地域に根ざしている自然豊かな遊佐で、患者様へ最善のケアを提供出来るよう、多くの先輩方や多職種の方々との情報を共有しながら努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



★2病棟 看護師 土門奈未

今年度から遊佐病院に就職した土門奈未です。小2、年中、2歳の子供がいて、日々バタバタと過ごしています。今までは勤務の日は家族でゆっくりする時間はなかなか取れなかったのですが、今年は夫より早く帰ってお風呂や食事の支度、子供たちの翌日の準備も出来て、家族みんな助かっています。趣味は読書やボーっとすることです。読みやすいものが好きで、最近は榎木理宇や秋川滝美等がよく読んでいます。今度新刊が出るので、密かに楽しみにしています。不器用なもので慣れるまで色々のご迷惑をおかけするかもしれませんが、頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します！



★2病棟 看護師 成澤朋香

はじめまして、2病棟に配属になりました成澤朋香です。遊佐町出身で、山形市の山形病院付属看護学校を卒業し地元に戻ってきました。未熟で日々学んでいくことばかりな私ですが、早く仕事を覚え皆さんと一緒に働けるよう頑張ります。最近ハマっていることは家で映画やドラマ、アニメを見ることです。オススメがあったらぜひ教えてください。分からないことばかりで何かとご迷惑をおかけするかと思います。ご指導のほどよろしくお願い致します。この病院で社会人1年目を迎えられる嬉しそうです。



★訪問看護ステーション 看護師 富樫団

3月から訪問看護ステーションゆぎで勤務しております。名前は「団」と一文字で「まどか」と読みます。酒田出身で数十年ぶりに地元に戻ってきました。気候が良く自然豊かな遊佐の風土に、気持ち良く訪問に出かけています。これまでは総合病院で経験を積んできました。訪問看護は初めてで、ご自宅にお邪魔し生活に寄り添った関わりができるよう学んでおります。庄内弁も懐かしく「おぼげだ」「もっけだの」など徐々に耳が慣れてきたところです。美容と健康のため娘と剣道をしているので、興味がある方はお声かけください。元気に頑張りたいと思っておりますので皆様よろしくお願い致します。



★1病棟 准看護師 齋藤菜々美

私は4月から准看護師として働かせていただいています。元々は介護員として学校に通いながら働いていました。介護員と准看護師として働くのは違うこともありますが、どちらも患者様を大切にすることは同じなので、職種は違っても協力して自分が今まで介護員で得た知識も活かして頑張っていきたいです。まだまだ何も出来ないのですが、本や手順でしっかり勉強してから患者様へ処置などを行い、安全に安楽に過ごせるよう頑張りたいです。



先輩の方々もとても優しく、細かく教えてくださるので毎日楽しく働くことができています。優しい先輩方に追いつけるように頑張ります。

★2病棟 介護職員 渋谷麻衣子

2月に入職しました。以前は全く異なる業種で働いていました。介護の仕事は初めてで不安もありましたが、先輩スタッフの方々が皆、親切に見守ってくださるので、安心して業務に取り組むことができています。毎日、学べる環境に感謝しながら、常に穏やかな気持ちで、患者様に視線を合わせたケアをしていきたいと思っております。趣味は、本が好きなので本屋さんや図書館に行くことです。最近はタイピングゲームにもハマっています。よろしくお願い致します。



★1病棟 介護職員 杉山祐造

5月1日に入職した杉山です。皆さんに親切にいただき、日々良い状態で仕事に取り組んでいます。私の体格を見て不自然に感じた人もいらっしゃると思いますが、私はトレーニングを開始して約15年になります。トレーニングをしている色々な人を見てきましたが、大体は肩、膝、肘を痛め強度の高いトレーニングが出来なくなるようです。そのような人達を見てきたため、細心の注意をはらい、丁寧な動きを心がけ、関節はほぼ痛めることなくきましたが、筋肉そのものを断裂したり調子が良い時に限って肉離れを起こしたりで、更なる工夫が必要になってきています。筋肉そのものは何歳になっても発達するらしいので、必ずやこの壁を乗り越え、60歳になる頃には今より2回りはでかくなりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



★医事課 高橋志穂

2月より医事課でお世話になっております高橋志穂です。生まれは遊佐町野沢です。現在は嫁いで旧八幡町に住んでいるため、地元で働くことが出来、嬉しく思っています。家族は、夫と中学2年生と小学5年生の息子の4人家族です。息子たちが、野球部とサッカーのスポ少に入っているため、練習を見たり試合に応援に行ったりすることが今の楽しみです。以前は、施設で介護員をしており、事務の経験はありませんが、一から教えていただき、皆さん優しく楽しく働かせて頂いています。まだまだ覚えることばかりですが、笑顔を忘れず、正確にかつ迅速に仕事出来るように頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。

